

四日市メリノール学院  
中学校・高等学校

SCHOOL GUIDE 2026





# 「知」を磨き、「個」を輝かせる。 一人ひとりが主人公になれる学校へ。

メリノールは、生徒が主役の学校です。

自分らしさややりたいことは人それぞれだからこそ、

型にはまった教育ではなく、どんな挑戦でも応援する教育を目指しています。

未来は自分次第。何者にだってなれる。さあ、可能性を信じて、踏み出してみよう。

その一歩を、メリノールは全力で応援します。





## 四日市メリノール学院の歩み 沿革

- |         |                                      |      |                                       |
|---------|--------------------------------------|------|---------------------------------------|
| 1962.12 | ● 三重県及び四日市市の要請により<br>学校法人メリノール女子学院設立 | 2017 | ● 学校法人メリノール女子学院を<br>学校法人四日市メリノール学院と改称 |
| 1963.4  | ● 高等学校設立                             |      | ● グラウンド天然芝化                           |
| 1964.4  | ● 中学校併設                              | 2018 | ● 第2体育館完成                             |
| 1971    | ● 高等学校に英語科開設                         |      | ● 英語科ICCの募集開始<br>(2023より普通科ICCに変更)    |
| 1981    | ● 中学校が6年制コースを導入                      | 2021 | ● 新テニスコート完成                           |
| 1993    | ● エスコラピアス修道女会が教育に協力参加                | 2022 | ● 第3体育館完成                             |
| 2000    | ● 併設型の中高一貫教育となる                      | 2023 | ● 創立60周年を迎える                          |
| 2003    | ● メリノール修道会より、<br>エスコラピアス修道女会へ設置母体を移行 |      | ● 通信制課程設置                             |
| 2013    | ● 創立50周年を迎える                         | 2025 | ● 3月までに7,607名の卒業生を輩出する                |





## 教 育 目 標

キリスト教精神に基づいて、

高い知性・強い意志・豊かな情操を培い、

「真・善・美」を探究し、それによって、自己の陶冶と社会の進歩に

積極的に働きかける人間の育成を目指す。







## 「DAXで変わる、未来を創る力」

四日市メリノール学院中学校・高等学校は、カトリックの精神に基づき、「他者のために生きる」ことを大切にした教育を行ってまいりました。私たちは、生徒一人ひとりが自らの可能性を信じ、社会の中で自分の役割を見出し、未来を切り拓いていく力を育むことを目指しています。

2025年度、本校は文部科学省より「DXハイスクール」に認定されました。これは、情報教育の充実とICT環境の整備を通じて、次世代の学びを実現する学校として評価されたものです。この認定を機に、私たちは新たな教育ビジョン「DAX(Digital Agency Transformation)」を掲げました。

DAXとは、急速に進化するデジタル技術(DX)への対応力と、自ら考え、選び、行動する主体性(AX)を融合させた、本校独自の教育改革の柱です。カトリック教育を礎とし、デジタル技術を使いこなすだけでなく、それを活用して、自らの意思で「共に生きる社会」の実現に向けた課題を見出し、解決に取り組む力を育てることが、これからの社会に貢献するために必要な力であると私たちは考えています。

本校ではこれまで、学校業務全般にわたってDX化を進めてまいりました。たとえば、入試業務を担う独自システム「esame(エザーメ)」、学習指導支援の「scritivo(スクリティーボ)」、成績管理の「studenti(スチューデんティ)」などを開発・導入し、教育活動の質と効率を高めてきました。こうした取り組みが評価され、DXハイスクールに認定されたことを受け、今後はこの方向性をさらに発展させるべく、「DAX」の構築を本格的に進めてまいります。

具体的には、すでに整備されているICT機器の自由な活用環境をさらに充実させ、生徒が自らの興味・関心に基づいて探究活動を進められるよう、支援体制を強化しています。生徒が自ら企画したプロジェクトの選考を通じて、研究資金の提供や、大学教授・専門家によるメンタリングを行い、学びの質を高める取り組みを推進しています。さらに、研究成果を発表する場も設け、学術的な交流を通じて社会との接点を広げています。

また、学費の見直しによって得られた資源を、できる限り生徒の学びの充実に還元しています。教育の機会を広く開きながら、より深く、より自由な学びを実現する——それが、四日市メリノール学院の新たな挑戦です。

これからの時代を生きる若者たちにとって必要なのは、単なる知識ではありません。自らの意思で未来を選び取る力を育てることこそが、私たちの使命です。四日市メリノール学院は、これからも変化を恐れず、常に生徒の可能性を信じて、教育の新しいかたちを創り続けてまいります。

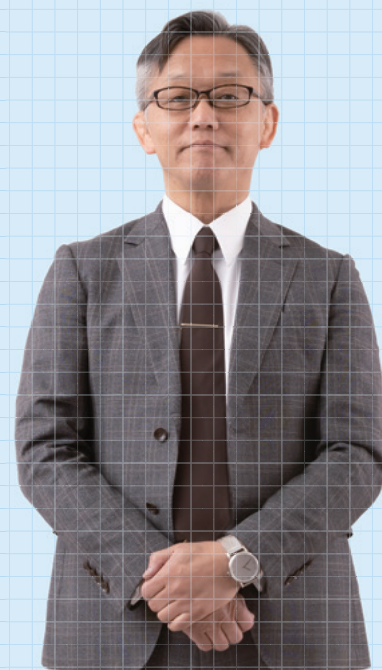
※AX(Agency Transformation)

Agencyとは OECD(経済協力開発機構)では以下のように定義されています。

「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力  
(the capacity to set a goal, reflect and act responsibly to effect change)」

「Agency Transformation」とは、生徒が自らの意思や行動を通じて、  
目的を達成する力や能力を大きく変革するプロセスと定義しました。

校長 高木 義成





# 01

ICT環境の充実

先進の学習環境を整え、  
次の時代を切り開く力を養う。



## ICT教育の長所を用いて情報社会で生きる力に

授業ではGoogleEarthを活用することで、地図帳だけではイメージしにくい地形や気候、都市構造などをイメージできたり、歴史の授業では古墳の形状を立体的に把握したりすることができます。また、クイズ形式の学習ツール「Kahoot!」を使って生徒自身に問題を作成してもらい、授業の理解度チェックをしています。ICT教材で学びの質を高め、いかに効率よく円滑に「発見と理解の場」に変えられるか、ということを大切にしています。

後藤 優貴 先生

地歴・公民科





# ICTで実現する

## 主体的・協同的な学び

### 一人1台のタブレット端末活用

本学院は、学校教育のICT化にいち早く取り組んできました。学校内にインターネット環境やPCルームを完備しているのはもちろん、生徒は一人1台タブレット端末を持ち、さまざまな教科の授業で活用しています。写真や図解を画面に表示しながら解説するほか、レポート作成や調べ学習にデジタルツールを用いて情報活用能力を磨く機会も。授業効率を高めることで、教員と生徒が双方向にコミュニケーションを取れる時間も確保できています。タブレットの学外への持ち出しも自由で、自宅学習のツールとしても役立てられています。



### 独自開発の教育プログラム「Scritivo」

本学院が独自に開発した、タブレット端末の教育プログラム「Scritivo（スクリティーボ）」。ネット環境が整っていればどこでも、自分のペースで学習に取り組みます。不明点があればタブレット内に記入して質問するなど、教員とのやりとりも可能です。また、課題を解くまでの過程を後から再生できるため、読む時間・解く時間・見直す時間などの分析も行えます。教員は個々の弱点を早期発見し、効率的な指導を実現できるようになりました。従来型の学習に加え、「Scritivo」を活用したICT教育の充実により、さらなる学習の発展に寄与しています。



### ICTを導入した授業の事例

ICTを効果的に取り入れることで、生徒の授業への参加意識も高まっています。ある日の中学英語の授業では、英語音声付きのアニメーション動画を教材に使用。動画内に登場するフレーズから「生きた英語」を学びました。この動画を制作したのは高校3年生の先輩です。「大学進学を前に、英語力だけでなくICTの活用スキルを身につけるため、英語教材を作る挑戦をしてもらいました。こうした授業間連携により、中学生・高校生の双方の成長を促しています」と英語教員の由良先生は説明します。動画で学んだフレーズは授業内ですぐに出題。タブレットでワークシートを配布し、電子黒板を併用しながら添削・解説をスムーズに展開します。



## INTERVIEW

### タブレットで隙間時間を有効活用してやる気アップ

タブレットを活用することで手軽に勉強ができるようになり、ちょっとした隙間時間にも復習をする習慣が身につきました。教科書や参考書でしっかり覚えたい内容があるときには、そのページの写真をタブレットで撮影。バスの待ち時間や移動時間にサッと見返しています。自宅で学習に取り組む際には、主に「Scritivo」を活用。さらには、コミュニケーションツールの「Teams」で先生とやりとりをしたり、ノートアプリの「OneNote」でプリントに取り組んだり、授業や宿題ではさまざまなアプリを使い分けています。デジタルツールを自分なりに使いこなしながら、中学生のうちに苦手な科目を克服し、得意な科目を伸ばしていきたいです。

高校2年生

中村 美樹さん





# 02

個性を伸ばす

生徒一人ひとりの個性を尊重し、  
最大限に伸ばす丁寧な指導を実施。



## 個性に光を当て、自信を育むことが表現力につながる

メリノールでは、英語を単なる教科ではなく人とつながるための「言語」として教えています。英語は現代において、自分の考えを世界に伝えるための重要なツールです。自分らしい表現力と他者とつながる力を育むために「個」に寄り添い、授業内外でそれぞれの生徒が持つ良さや可能性に目を向けて、自分自身の価値に気付けるような関わりを大切にしています。自己肯定感を育むことが、前向きな学びと人との温かい結びつきにつながると考えます。

太田 有紀先生 英語







## 「個」に寄り添い 未来を育てる教育

### 国際感覚を磨く英語教育

高校2年進級時に、希望者は英語教育に特化したコース「普通科ICC」へと進むことができます。ICCの学びは、語学力の習得だけでなく、国際協力の分野への理解を深めることを目的としています。国際社会で活躍するには、自らの意見を英語で伝えられるスキルが大切です。そのため、表現力や創造力を伸ばすカリキュラムを用意し、より実践的な学びとしてフィリピンのセブ島で1か月間の実習もおこないます。

### 「生徒主体」の学びを展開

今の時代の学校教育に必要とされるのは、興味・関心に合わせて生徒の意欲を引き出せる「個」の学びです。新しい学習指導要領でも主体的な学びが重視されるようになり、本学院のカリキュラムも大幅に変更。7限目の時間を使って多彩な講座を開講するなど、自由な学びを得られる機会を増やしました。教員主導ではなく生徒が自ら考え、行動する姿勢を促すことで、目指すのは能動的に学び続けられる人材の育成です。ぜひ、メリノールであなたの「好き」を見つけてください。



### 資格取得サポート

各教科の基礎学力を確認するため、また、学習モチベーションを高めるため、資格取得を積極的にサポートしています。特に、英検などの英語の外部試験は大学入試でも重要視されるようになりました。ネイティブを含む英語の教員が放課後に個別指導を行うなど、対策に力を入れています。一次試験（筆記とリスニング）の対策はもちろんのこと、二次試験（面接形式のスピーキングテスト）に向けて一人ひとりにしっかりアドバイスをし、資格の取得を目指しています。

## INTERVIEW

### 一人ひとりに合わせたアドバイスで苦手分野も克服

先生方は昼休みに個別で英検対策をしてくれたり、放課後もコミュニケーションをとってくれたりして一つの目標に向かって寄り添ってくれます。一人ひとりの話を聞いてくれて、勉強のスピードに合わせてアドバイスしてくれるので、みんなが個性を伸ばせる環境だなと感じています。タブレットの「Scrivito」を使った自習では、間違った問題に先生が解説を書いてくれます。そのおかげで苦手な分野が理解できるようになり、テストでも100点近い点数をとりました。また、中1の時に参加した数学講座では、わからない問題をすぐに聞くことができて、成績がとてよく伸びました。

高校1年生

仲見 優汰さん





# 03

人間性を育む

誠実に、美しく、豊かな心を育む、  
「真・善・美」を探究する教育。



## 自分も他者も大切に行動できる「人間力」を育成

私もかつては、みなさんと同じようにメリノールで青春時代を過ごしていました。当時はインターアクト部に所属していましたが、今では同部の顧問として自分の知識や経験を還元しています。メリノールには、学力だけでなく人間力を育むことができる環境が整っています。たとえば、毎朝のお祈りは、登校直後の慌ただしさから気持ちを切り替えられるひととき。他者のために祈り、自分の内面を見つめる時間が心の成長につながります。

日数谷 祐依 先生

社会科・キリスト教倫理





# キリスト教精神を 基盤とした心の成長

## インターアクト部や聖歌隊の活動

インターアクト部では、募金活動、学校周辺の清掃、地域行事への協力などを行っています。「奉仕の心で歌う」をモットーとする聖歌隊は、地域施設や福祉・医療センターでの慰問演奏などで活躍しています。こうした活動を通じ、社会の中でボランティアや交流学习に取り組む生徒が毎年多数います。



## 共同体の中での隣人愛

本学院の特徴は、キリスト教精神に基づいた人間教育です。真理を追求し、善をおこない、周囲の人々とともに調和のとれた美しい世界を創ろうという「真・善・美」の心を大切にしています。聖書の一説には「隣人を自分のように愛しなさい」という言葉があります。これは「隣人愛」ともいわれる教えで、他者を大切にする心について説いたキリスト教倫理の根本原理です。キリストがそうであったように、本学院で学校生活を送るうえでも、「他者のためにどう生きるか」という視点が重要だと考えています。クラスや部活の仲間たちと多くのことを話し合い、協力しながら、行動する力を身につけましょう。

## 修養会や奉仕活動

本学院では、授業だけではなく、学校行事などの多彩な活動によって生徒の個性を育てています。毎年開催している修養会は、日常から離れ、自分の生き方・考え方を見つめ直すことのできる場です。神父様の講話やグループワークを通じ、生徒たちは机に向かうだけでは得られない「心の学び」を深めます。さらには、学年ごとに奉仕活動や地域交流を行う機会も積極的に設けています。中学生は毎年、近隣の特別支援学校との交流活動に参加。温かな関係性を築くなかで、相手の気持ちに共感し、思い合うことの大切さを学んでいます。



## INTERVIEW

### 「君は愛されるため生まれた」。シスターの言葉で内面が変化

入学したきっかけはバスケットボールでしたが、朝の祈りの時間で1日を始めることも、今では心が落ち着く時間になりました。シスターの「1人で抱え込まないで、君は愛されるために生まれたんだ」という言葉がとても心に響き、バスケの悩みも含めて今までのたくさんのことを振り返りました。困ったことがあっても1人で考え込んだり抱え込んだりせず、友人や先生、家族に相談しよう、どんな辛いことも乗り越えようという気持ちになりました。また、神父様の「感謝しましょう」という言葉では、「今まで感謝なんてしてこなかったな」と気付かされ、県外に送り出してくれた家族やバスケの先生方、周りにいる方々へ感謝しながら中学校生活を歩みたいと思いました。

中学2年生

庄司 希望さん







# メリノールの6年間

中学校3年生では、高校に向けて先取り授業をおこない、さらに高校では豊富な授業プログラムで、一人ひとりの進路を実現する学力を養います。また国公立大学など一般入試対策はもちろんのこと、学校推薦型や総合型入試など幅広い受験方法に対応できるよう指導のステップを重ねていきます。一方、中高合同でおこなう部活動や行事などを通じて、学年を越えた生徒同士の関わりや地域の方々との連携によって、幅広い人間関係を形成し、コミュニケーション力や社会性を身につける環境も整っています。こうした環境が将来の「生きる力」になっていくものと考えています。皆さんも、本学院で未来への一步を踏み出しませんか。



## CURRICULUM

## 2025年度入学者 授業カリキュラム

### 中学校

junior high school

(中学校は週あたりの授業時間数)

	1年	2年	3年
国語	4	4	4
社会	3	4	4
数学	4	4	4
理科	4	4	4
英語	5	5	6
音楽	1.5	1	1
美術	1.5	1	1
保健体育	3	3	3
技術・家庭	2	2	1
キリスト教倫理	1	1	1
LHR	1	1	1
総合的な学習の時間			

### 高等学校

high school

#### 幅広い授業内容で 一人ひとりの希望進路を応援

高校1年次は共通のカリキュラムで学習します。高校2年次からは文系・理系・ICCを自分の希望進路などに合わせて選択します。

#### 普通科

単位	高 1
1	● 現代の国語
2	
3	● 言語文化
4	
5	● 地理総合
6	
7	● 歴史総合
8	
9	● 数学I
10	
11	数学A
12	
13	● 化学基礎
14	
15	● 英語コミュニケーションI
16	
17	論理・表現I
18	
19	● 体育
20	● 保健
21	
22	● 音楽I / 美術I / 書道I
23	
24	● 家庭基礎
25	
26	● キリスト教倫理
27	● 総合的な探究の時間
28	
29	LHR

● 必修修科目





## 高大連携の取り組み

メリノールでは早期段階から進学意識を高める機会を提供  
2025年度より南山大学と新規プログラムも始動！

大学での学びに対する理解を深め、目的意識を高めるため、高大連携の取り組みを推進しています。上智大学をはじめ、多くの大学と高大連携を行っています。また、南山大学とは特別協定校入試が始まります。特別推薦枠が大幅に増えるため、南山大学に関心のある生徒にとっては大変魅力的なプログラムとなっています。



※鈴鹿医療科学大学連携コースの実験の様子

## 講座について

放課後の時間を使い、多くの講座を開講しています。自分の進路に必要なことや、学びたいことについて理解をより深めることができるようになっています。

### <2025年度開講実績>

- ・English Theater Arts
- ・小論文・レポート
- ・ピアノ伴奏
- ・食品加工・科学実験
- ・環境科学
- (約10講座の中から一部抜粋)

### 普通科文系・理系

単位	高2		高3	
	文系	理系	文系	理系
1	論理国語		論理国語	
2				
3	● 公共		古典探究	地理探究
4				
5	古典探究	数学Ⅱ	国語探究	数学Ⅲ
6				
7	日本史探究 / 世界史探究		日本史探究 / 世界史探究	数学C
8				
9	文学探究Ⅰ / 歴史探究α 数学Ⅰ・A 探究α / 英語会話	数学Ⅱ	政治・経済	化学
10				
11	音楽Ⅱ / 美術Ⅱ / 書道Ⅱ 生活デザインα / ヴァリアススポーツ	数学Ⅱ	文学探究Ⅱ / 歴史探究β 数学Ⅰ・A 探究β / イングリッシュプレゼンテーション	化学
12				
13	● 地学基礎	● 物理基礎	音楽Ⅲ / 美術Ⅲ 生活デザインβ / フィジカルフィットネス	化学/生物
14				
15	● 生物基礎		英語探究	物理 / 生物
16				
17	英語コミュニケーションⅡ		英語コミュニケーションⅢ	
18				
19	論理・表現Ⅱ			
20				
21	● 体育		論理・表現Ⅲ	
22				
23	● 保健		● 体育	
24				
25	● 情報Ⅰ		● キリスト教倫理	● キリスト教倫理
26				
27	● キリスト教倫理		● 総合的な探究の時間	● 総合的な探究の時間
28				
29	● 総合的な探究の時間		LHR	LHR
30				

### 普通科ICC

単位	高2	高3
1	論理国語	論理国語
2		
3	古典探究	古典探究
4		
5	世界史探究	国語探究
6		
7	● 公共	世界史探究
8		
9	● 生物基礎	英語コミュニケーションⅢ
10		
11	● 地学基礎	英語コミュニケーションⅡ
12		
13	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅲ
14		
15	論理・表現Ⅱ	ディベートディスカッションⅡ
16		
17	ディベートディスカッションⅠ	英語探究β
18		
19	英語探究α	英語探究β
20		
21	● 体育	● 体育
22		
23	● 保健	● キリスト教倫理
24		
25	● 情報Ⅰ	● 総合的な探究の時間
26		
27	● キリスト教倫理	LHR
28		
29	● 総合的な探究の時間	LHR
30		



本学院では、奨学生制度や育成入試制度を設け、意欲ある生徒の学びたい気持ちを応援しています。  
この学校で過ごした時間を振り返ったときに「メリノールで良かった」と思えるよう、将来に向けてしっかりサポートします。

メリノールの奨学生制度

本学院の奨学生制度は、キリスト教の精神に基づいて本学院が設定したもので、学院が生徒を支援することで社会に貢献しようとするものです。  
経済的に苦しい生徒を支援する「パウラムンタル奨学金」と、能力をより大きく引き出すことで、助けを必要とする人に手を差し伸べられる生徒に成長してくれることを願い、入試の成績に応じて奨学生を決定するS・A・Bタイプの奨学金があります。

各タイプ別奨学生の負担金額比較表 (2026年度入学生より適用・費用は年額)

中学校		通常	Sタイプ	Aタイプ	Bタイプ
入学年度の経費	入学金	5.0万円			
	教育充実費	25.0万円			
	授業料	30.0万円			12.0万円
	施設・教学費	12.0万円		12.0万円	12.0万円
	旅行積立金	5.4万円	5.4万円	5.4万円	5.4万円
	タブレット購入費 (2025年度金額)	10.4万円	10.4万円	10.4万円	10.4万円
	協力会	1.7万円	1.7万円	1.7万円	1.7万円
	合計金額	89.5万円	17.5万円	29.5万円	41.5万円
	特別支給奨学金		15万円支給		
2年次以降の経費	授業料	30.0万円			12.0万円
	施設・教学費	12.0万円		12.0万円	12.0万円
	旅行積立金	5.4万円	5.4万円	5.4万円	5.4万円
	協力会	1.7万円	1.7万円	1.7万円	1.7万円
	合計金額	49.1万円	7.1万円	19.1万円	31.1万円
	特別支給奨学金		15万円支給		

高等学校		通常	Sタイプ	Aタイプ	Bタイプ
入学年度の経費	入学金	5.0万円			
	教育充実費	25.0万円			12.5万円
	授業料	3.5万円			
	旅行積立金	12.0万円	12.0万円	12.0万円	12.0万円
	ICT環境利用料	1.2万円	1.2万円	1.2万円	1.2万円
	協力会	1.7万円	1.7万円	1.7万円	1.7万円
	合計金額	48.4万円	14.9万円	14.9万円	27.4万円
	特別支給奨学金		20万円支給		
2年次以降の経費	授業料	3.5万円			
	旅行積立金	7.0万円	7.0万円	7.0万円	7.0万円
	ICT環境利用料	1.2万円	1.2万円	1.2万円	1.2万円
	協力会	1.7万円	1.7万円	1.7万円	1.7万円
	合計金額	13.4万円	9.9万円	9.9万円	9.9万円
	特別支給奨学金		20万円支給		

※高等学校の授業料は、就学支援金を差引いた実質納付額を記載しています。※奨学生は、年度ごとの見直しになります。※パウラムンタル奨学金は中学生のみとなります。  
※高等学校の旅行積立金は、2年次の10月までの徴収となります。

メリノールの「育成入試」について

学びへの意欲を評価に反映する入試制度

2018年度より、中学校・高校ともに新たな制度として導入した「育成入試」。調査書や試験点数だけによる判定ではなく、  
熱意や人物本人を総合的に判断し、選考する入試です。事前にエントリーシートを提出の上、出願許可が出た場合に受験できます。  
本学院では、努力を惜しまずチャレンジする姿勢を持った生徒の皆様に入學していただきたいと考えています。  
学習意欲を示していただくために、試験では前もって準備した問題集から7割程度同問題を出題します。  
入学前から繰り返し学習する習慣を身につけることにより、基礎学力の充実にも期待ができます。「育成入試」での受験も選択肢のひとつとしてお考えください。

夢を叶えた先輩たち!!

2025年度入試では四年制大学進学者が121名、専門学校30名、短大1名、就職9名、その他4名という結果でした。今年度も上智大学(3名)と南山大学(14名)の人氣が高く、カトリック推薦や指定校推薦を中心に多くの生徒が合格を掴む事ができました。本校は生徒の主体的な活動(部活動や課外活動)を大切にしており、学力だけでなく生徒一人一人の魅力を引き出せる指導を心掛けており、今年度は東海圏だけでなく、首都圏の大学からも合格を掴む事ができました。一般選抜での受験者は多くはありませんが、粘り強く取り組んだ結果、専修大学を含め、複数合格しております。本校の進路のスローガンは「生徒の第一希望を叶える」です。次年度は全日課程に加えて通信制課程も一期生を送り出します。全ての生徒の希望を叶える為に、全職員で進路実現のサポートをさせていただきます。

2024年度入試 4年制大学の主な合格状況  
17名が上智大学・南山大学に合格!!

- 上智大学(3)
  - 立教大学(1)
  - 國學院大学(1)
  - 千葉工業大学(1)
  - 東京女子大学(1)
  - 東京薬科大学(1)
  - 専修大学(1)
- 関西大学(1)
  - 立命館大学(1)
  - 京都外国語大学(1)
  - 愛知県立芸術大学(1)
  - 南山大学(14)
  - 愛知大学(3)
  - 中京大学(1)
- 名城大学(2)
  - 名古屋外国語大学(3)
  - 愛知淑徳大学(16)
  - 椋山女学園大学(10)
  - 藤田医科大学(2)
  - 鈴鹿医療科学大学(5)

丁寧で面倒見の良い  
進路指導

本学院の進路指導は「生徒自らが適性や興味を探り、主体的に進路を選択する」をコンセプトに日頃から生徒との関わり方、サポート方法を考え、進路指導を行っています。近年では多様化する入試方法に合わせ進路ガイダンス等による情報提供、受験だけを目的とするのではなく、その先の進路を見据えた面談を行い、生徒の個性や考え方を理解し、職業観や探究心を育成し、希望する進路に向かって計画的な準備を進めています。



進路指導部長 水谷 公紀 先生





メリノールから大学へ、社会へ羽ばたいた卒業生は約7,000人。今でも多方面で活躍しています。

## 01 | メリノールから社会人へ

### メリノールで磨いた英語力と 興味関心とともに、世界で戦うオリンピックに

私は「女子7人制ラグビー」でパリオリンピックメンバーに入ることができました。メリノールでは英語検定試験や英語を使ったコミュニケーションへの備えを通して英語力を磨くことができたので、海外遠征でのインタビューにも動くことなく対応できています。また、メリノールは学問だけでなく文化活動や情操教育にも力を入れているため、いろんなことに興味関心が持てるようになりました。おかげでカバンの中にはいつも本が入っています。メリノール初のオリンピックとなり、今後も精一杯頑張ります。

就職先 Tokyo Athletic United  
東京山九フェニックス

水谷 咲良さん (2021年度卒業)



## 02 | メリノールから大学へ

### 英語力、主体性、他者への関心、部活… メリノールでの6年間が大学生活に生きている

メリノール学院では、毎月英単語の小テストが実施されていたおかげで、コツコツと勉強した英語力が大学でも生きています。精神面では、意欲的に学ぶ主体性やキリスト教のヒューマニズムに基づいた他者への関心が養われました。これらの学んだことをさらに伸ばし、多様化・国際化が進む社会で活躍したいと思い、上智大学に進学しました。大学では、メリノールでの6年間と同じバスケットボール部に所属し、3部リーグに昇格するべく精進しています。厳しい練習を仲間と乗り越えた経験が、一人暮らしやアルバイト、大学生活で生かされています。

進学先 上智大学 経済学部  
経済学科 2年

沖 柑多さん (2023年度卒業)



## 03 | メリノールから大学へ

### 人数教育やカトリックの教えが充実した 大学生活につながっていると実感

メリノールでは授業外でも個々のレベルに合わせて親身に勉強を教えてくれたので、大学の学びの基礎を養い、志望校に進学することができました。また、カトリックの教えを通して自分の使命を考えることで自身を見つめることができ、目標を実現するために自発的に勉強する力が身につきました。そのおかげで大学での深い学びにつながっていると感じています。大学は理系ですが高い語学力が求められ、メリノールで培った英語力・日本語力は大変役に立っています。現在は調査やサークルなど充実した大学生活を送っています。

進学先 東京都立大学 都市環境学部  
地理環境学科 2年

川島 人和さん (2023年度卒業)



## 04 | メリノールから大学へ

### 人とのつながりを大切にしながら 自分の可能性を広げたい

キリスト教精神に基づいて、他者を尊重し、相手に寄り添うことの大切さをメリノール学院で学びました。現在は「人間の尊厳のために」とのモットーを掲げる大学に進み、世界の様々な地域に暮らす人々の文化や価値観、生活のあり方について学んでいます。異なる文化や価値観を理解しようとする姿勢は、メリノールで培われた相手を思いやる気持ちから生まれるものだと感じています。また、メリノールで身に付いた自ら進んで学ぶ姿勢は、今の学びに大きく役立っています。部活は弓道を続け、仲間と励まし合いながら団体優勝を目指して日々練習に取り組んでいます。

進学先 南山大学 文学部  
人類文化学科 2年

堀木 麻央さん (2023年度卒業)





# CAMPUS LIFE



## PICKUP

顧問紹介 高校ダンス部 三好 晴香 先生

現在は未経験者も含めた20人で週4日活動しています。外部の先生に週2回指導してもらいつつ、曲決めや振り付けのほとんどは自分たちで行い、大会入賞や文化祭・地域イベントでの出演に向けて日々楽しく練習に励んでいます。試行錯誤しながらみんなで一つの作品を作り上げ、ステージで力を出し切った時の達成感や感動は言葉に言い表せません。ダンスの技術はもちろん、自ら考え責任を持って行動していく力や仲間との協調性など、社会に出た後も求められる大切な力を身につけ、心身の成長を実感できるダンス部です。興味のある方は気軽にお声がけください。





本学院では、茶道部をはじめとした文化部、バスケット部をはじめとした運動部と多くの部活があり、

数多くの生徒が授業後に各々の個性を活かして活動しています。

また、文化祭や修養会などそれぞれの特徴がある学校行事が多数あり、授業だけではなくさまざまな活動を通して個性を育てていきます。

四日市メリノール学院で、あなたも充実したキャンパスライフを送りませんか。



## クラブ・サークル一覧

※は同好会

中学校		高等学校	
運動部		運動部	
弓道 テニス バスケットボール 新体操 ラグビー ダンス ゴルフ		弓道 バドミントン テニス バスケットボール 新体操 ラグビー ダンス ゴルフ	
文化部		文化部	
聖歌隊 美術 箏曲 茶道 華道 カルタ※		演劇 華道 茶道 聖歌隊 箏曲 美術 礼法 インターアクト カルタ※	



# CAMPUS CALENDAR

季節の節目の式典や豊かな感性を育む行事など、メリノールには年間を通じて出会いや体験の機会があります。

素敵な思い出をたくさんつくって、あなたらしい未来の糧になる学校生活を送ってください。

4

Apr.

- 入学式・始業式
- 新入生  
オリエンテーション
- 新入生歓迎会
- 実力テスト

5

May

- 創立記念日  
全校集会
- 保護者会
- 防災教室(1年生のみ)
- スポーツデー
- セブ島研修(ICCのみ)
- 生徒会役員選挙
- 芸術鑑賞

6

Jun.

- 実力テスト
- 合唱祭

7

Jul.

- 定期考査  
(第1回)
- 夏期補習

8

Aug.

- 夏期補習

9

Sep.

- 実力テスト
- 個別懇談
- 前期終業式

何でも全力!



一緒に  
盛り上げよう



入学式



研修旅行



スポーツデー



入学式



スポーツデー







10

Oct.

- 後期始業式
- 研修旅行・社会見学
- 修養会・奉仕活動
- 文化祭

11

Nov.



12

Dec.

- クリスマス祝典
- 定期考査 (第2回)



1

Jan.

2

Feb.

- 海外研修 (希望者のみ)
- 実力テスト

3

Mar.

- 定期考査 (第3回)
- 卒業式
- 修了式
- 後期終業式

● 共通行事 ● 中学校行事 ● 高校行事 ※実力テストは年度によって変動します。





**路線案内**

— JR — 近鉄 — 三岐鉄道 — バス

関西本線

JR 四日市

JR 名古屋

弥富

朝日

近鉄 名古屋

近鉄 弥富

桑名

富田

近鉄 四日市

名古屋線

伊勢若松

白子

津

伊勢川島

鈴鹿線

平田町

湯の山線

桜

菰野

高角

四日市メリノール学院  
中学校・高等学校

山城

穴太

楚原

西藤原

北勢線

三岐鉄道

三岐鉄道

大山田団地方面

西桑名  
ネオポリス方面

近鉄高角駅・桜駅から



四日市メリノール学院  
中学校・高等学校

TEL.059-326-0067 FAX.059-326-8345

<https://maryknoll.ed.jp/>

